

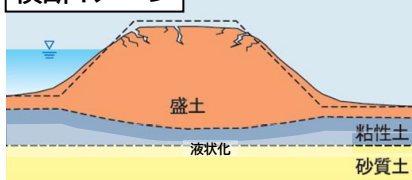
河川

緑川の耐震対策（熊本県熊本市、震度6強）【国土交通省】

【H28熊本地震】（緑川左岸8.4k付近）

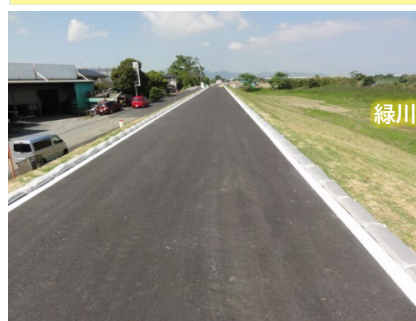
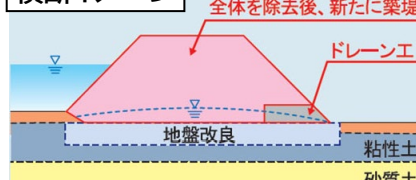
<被災直後>

横断イメージ



<復旧後>

横断イメージ

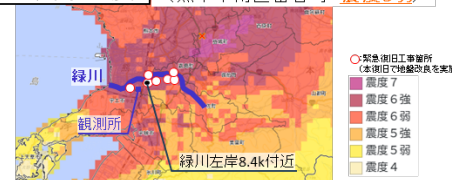


■ 事業概要

緑川では、平成28年熊本地震で最大震度6弱を観測し、堤防機能に支障を及ぼす液状化等により大きな変状が確認され、堤防復旧に加え液状化対策が必要な7箇所で地盤改良を実施。

H28熊本地震

（熊本市南区富合町 震度6弱）



■ 効果

令和8年熊本地震では、前回を上回る最大震度6強を観測したが、液状化対策実施箇所では堤防機能に支障を及ぼす液状化等の大きな変状は確認されなかった。

これにより、地震後の台風13号接近時においても、地域の安全を確保することができた。

【R8熊本地震後】  
（緑川左岸8.4k付近）



農業

かめまつ 亀松西部排水機場（熊本県宇城市、震度7）【農林水産省】



亀松西部排水機場



亀松西部排水機場  
（地震後）

舗装状況



亀松西部排水機場（令和3年完成時）

■ 事業概要

亀松西部排水機場は、大規模地震が発生した場合には既存の排水機場が損傷し、機能停止により湛水被害が生じるおそれがあったため、令和3年度に現行の耐震基準に基づいた新たな排水機場として建設（3か年緊急対策により実施）。

■ 効果

耐震対策を行った亀松西部排水機場は舗装のひび割れといった軽微な被害に留まり、排水機能に影響がなかったため、通常の運用を行っている。



道路

一般県道八代不知火線 砂川大橋耐震補強  
(熊本県宇城市松橋町、震度6強)【国土交通省】

位置図



事業前・後



事業概要

熊本県が管理する(一)八代不知火線 砂川大橋において、3か年緊急対策により、橋梁耐震補強(耐震性能2※)を実施(令和3年度対策完了)。

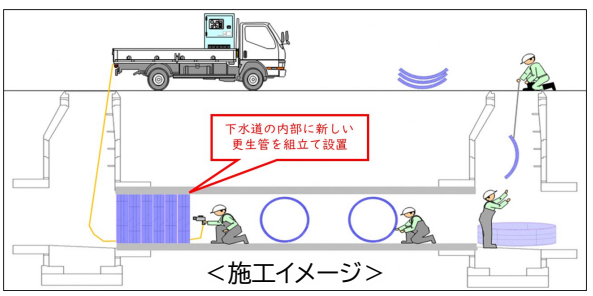
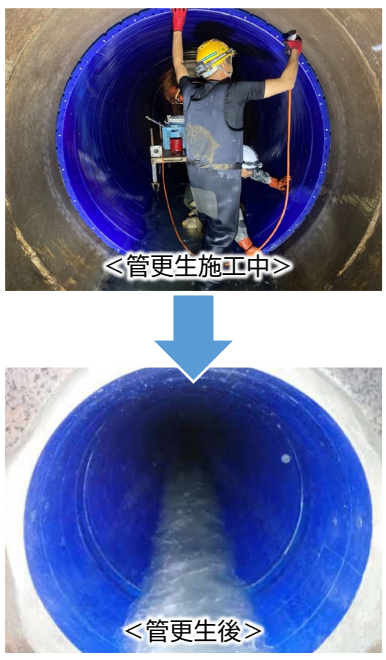
効果

橋梁耐震補強(橋脚巻立補強、落橋防止装置)を実施したことで、宇城市松橋町で震度6強を観測したが、大きな被害は生じず、第2次緊急輸送道路ネットワークの機能を維持することができた。

※耐震性能2:速やかな機能回復が可能な性能を目指す対策

下水道

下水道管路の耐震化  
(熊本県熊本市、震度6強)【国土交通省】



事業概要

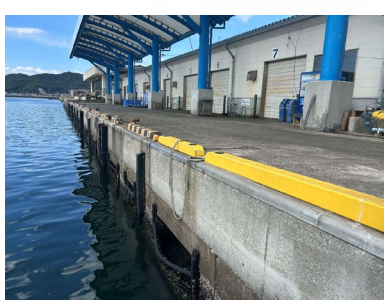
5か年加速化対策により、特定機能病院(熊本大学病院)から下水処理場(中部浄化センター)までつながる下水道管路の更生工法による耐震化事業を実施。

効果

当該下水道管路について、破損・継手部のずれなどの被害を防止し、下水道の流下機能が確保された。

漁港

牛深漁港(-5.0m岸壁)  
(熊本県天草市、震度5弱)【農林水産省】



事業概要

3か年緊急対策により岸壁の耐震化の事業を実施。

効果

同漁港内の耐震化していない護岸は段差の被害が生じたが、耐震化対策を実施した岸壁は、地震による被害が無く、水産物の陸揚機能を維持することができた。



# これまでの国土強靱化に関する取組の効果事例について

## (2) 経済発展の基礎となる交通・通信・エネルギーなどライフラインの強靱化

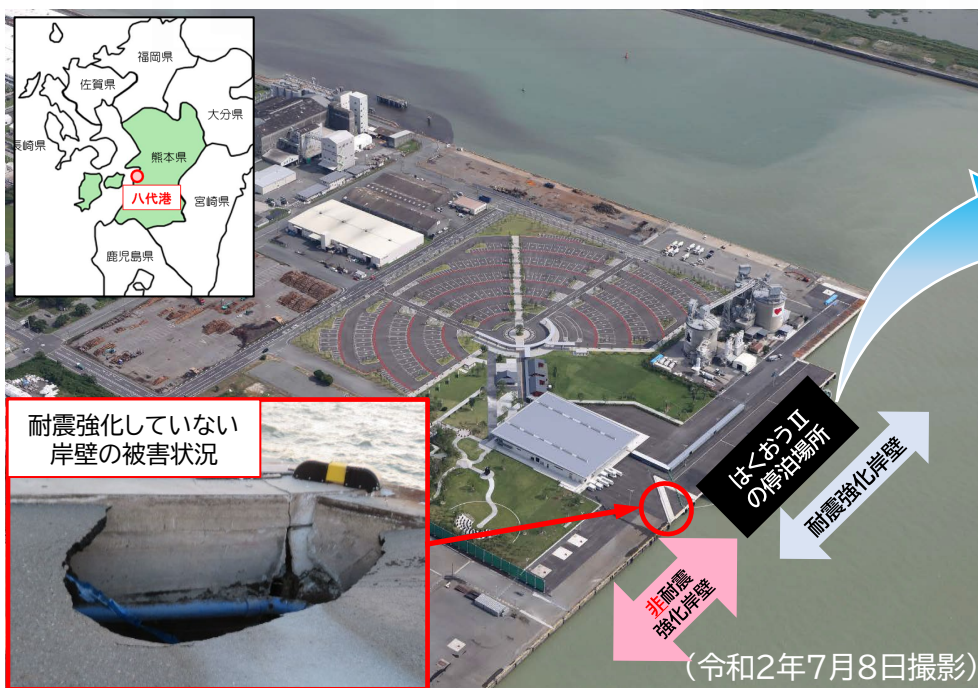
令和8年熊本地震

国土強靱化  
NATIONAL RESILIENCE

- 八代港では、平成28年熊本地震を契機として3か年緊急対策により耐震強化を実施していた岸壁では、係留施設自体に大きな被害が無かったため、背後用地を速やかに応急復旧することで、地震発生翌日(7月29日)には支援船の受け入れを開始。
- 8月4日には防衛省のPFI船舶「はくおうⅡ」が入港し、同月5日から被災者への入浴支援等を開始するとともに、JMAT、DMAT、日赤救護班等による医療提供を開始。

### 港湾

八代港の耐震強化岸壁整備による支援の受け入れ機能強化  
(熊本県八代市、震度6強)【国土交通省】



- 令和2年3月に耐震強化岸壁が完成(3か年緊急対策により実施)
- 岸壁背後に段差等の被害が発生したものの、迅速な応急復旧作業により地震発生翌日には支援船の受け入れを開始
- 海上からの緊急物資の搬入や給水の支援のための、船舶の活動拠点として活用

### 防衛・医療

「はくおうⅡ」による、入浴・宿泊・食事支援、医療提供  
【防衛省、内閣府、厚生労働省】



- 長期間の避難所生活を送る被災者のリフレッシュに資するため、八代港に「はくおうⅡ」を停泊させ、入浴・宿泊・食事等を支援
- 被災者の休養施設として、8月5日から入浴支援、14日から宿泊・食事支援

※台風13号接近に伴い8月6～10日まで支援中断



- JMAT、DMAT、日赤救護班等による医療提供を8月5日から開始



消防

緊急消防援助隊の車両・資機材の整備による広域的な消防  
防災体制の充実強化（熊本県嘉島町等、震度6強）【消防庁】



イオンモール熊本で重機を  
活用し救助活動を実施

拠点機能形成車、  
大型 TENT を活用し、  
宿営拠点を形成



■ 事業概要

5か年加速化対策／3か年緊急対策により、重機・重機搬送車や拠点機能形成車等を配備。

■ 効果

- イオンモール熊本での救助活動では、重機により倒壊した建物の鉄骨等を除去し、救助隊員の進入路や活動スペースを確保するなど、救助活動の迅速化・効率化に寄与
- 救助活動が長時間に及ぶ中、拠点機能形成車を活用して、猛暑下で活動する隊員の休憩場所を確保
- 長期にわたる活動を支える宿営拠点を形成するなど、隊員の安全管理及び継続的な活動体制の確保に寄与

警察

災害対策資機材を活用した救出救助活動  
(熊本県八代市、震度6強)【警察庁】



■ 事業概要

災害時における救出・救助活動等の警察活動を適切に行うため、3か年緊急対策により災害対策に必要な資機材の整備を実施。

■ 効果

地震の影響により、熊本県八代市では、多数の家屋や建物の倒壊が発生する中、熊本県に特別派遣された広域緊急援助隊は、平成28年熊本地震発生以降、3か年緊急対策により新たに配備されたエンジンカッターや、当時使用していた機材に比べ性能が向上した電動ノコギリ等の災害対策資機材を活用し、被災者を救出・救助した。

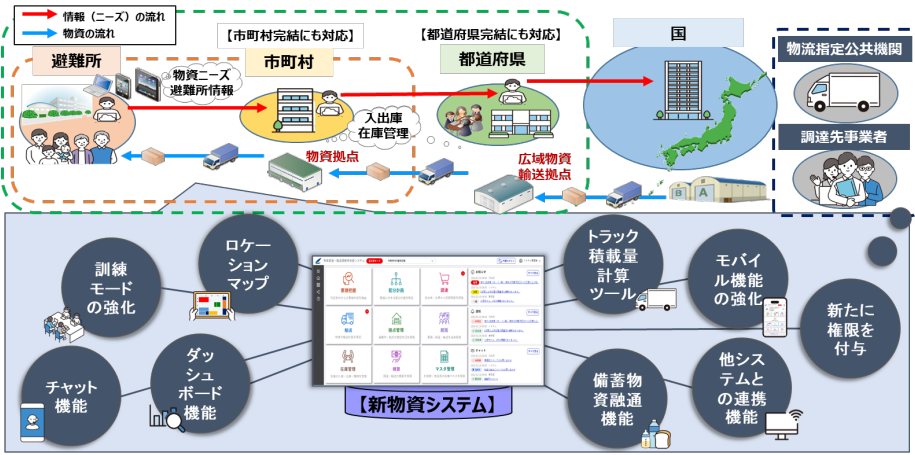


地域防災力

新物資システム（B-Plo）を用いた物資支援  
【内閣府防災】



- 令和7年4月から新物資システム（B-Plo）の運用を開始し、発災時の国・自治体等の間での物資調達・輸送等に必要な情報の共有・調整の効率化を図っている
- 被災地でのB-Ploへの入力支援等を通じて物資管理の効率化に取り組んでいるところ
- プッシュ型支援等により、飲料約138万本、主食約59万食が到着（8月21日時点）



新物資システム（B-Plo）

環境

一般廃棄物処理施設の整備  
（熊本県宇城市、震度 7）【環境省】



事業概要

5か年加速化対策により、老朽化等により災害時の事故リスクが懸念される一般廃棄物処理施設「宇城クリーンセンター」の新焼却施設等の整備等を実施（令和6年4月から供用開始）。

効果

令和8年熊本地震後も、重大な損傷を生じることなく、施設は安定的に稼働し、7月31日からは、災害廃棄物の仮置き場も開設された。



災害廃棄物の搬入状況



地域防災力

トイレ・食事・ベッド（TKB）等の避難生活環境整備  
【内閣府防災】

- 災害対応車両登録制度（D-TRACE、令和7年6月開始）に登録されたトイレカーをプッシュ型的に調整し、被災地へ迅速に派遣
- 水洗機能及び臭気対策機能を備えた快適トイレ仕様のトイレカーが、避難所において良好なトイレ環境を実現
- キッチンカーにおいても、平成28年熊本地震時には避難所であり見られなかったが、今回は多くの事業者や団体等が活動

トイレカーの派遣：全国の自治体から延べ33台が到着



キッチンカーの派遣：業者やボランティア等により、30台以上が活動

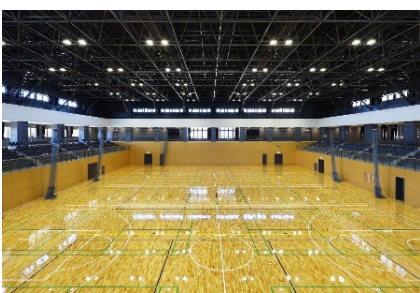


パーティション・ベッドの設置



都市公園

きくようすぎなみき 菊陽杉並木公園（熊本県菊陽町、震度5強）【国土交通省】



- 事業概要  
平成28年熊本地震の際に、町内外から多くの避難者が押し寄せ、長期にわたり車中泊等が発生したことを踏まえ、公園を拡張し、屋内の避難所となる総合体育館等を整備。
- 効果  
一時に最大88人の避難者を総合体育館に受入れ、安全確保に寄与した。

教育

学校施設における空調整備に関する緊急対策【文部科学省】



公立小中学校における空調整備状況  
(熊本県、普通教室)

|       |      |
|-------|------|
| H30.9 | R4.9 |
| 76.0% | 100% |

- 事業概要  
3か年緊急対策により、公立小中学校等における普通教室の空調整備を実施。
- 効果  
令和8年熊本地震では酷暑下での避難となったが、空調が設置された普通教室等を避難所として利用したことで、避難者の負担軽減が図られた。